

経 済 の 動 き*

【全体感】

東北地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が落ち着く中、一部に持ち直しの動きがみられている。

最終需要の動向をみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられている。住宅投資は、持ち直している。この間、生産は、供給制約の影響から増勢が鈍化している。雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

【各 論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復興関連工事の一巡などから減少している。

設備投資は、増加している。

12月短観（東北地区）における2021年度の設備投資をみると、案件一巡や感染症に伴う先行き不透明感などから減少とする先が一部にあるが、旺盛な需要を背景とした半導体・自動車関連、物流などの能力増強投資がみられるほか、感染症の影響で先送りされた案件の再開などもあることから、全体では増加する計画となっている。なお、9月短観と比べると、資材不足などから計画を下方修正する動きがあった一方、能力増強投資を積み増す動きもみられている。

個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられている。

主要小売業販売額をみると、百貨店は、下げ止まりつつあるほか、コンビニエンスストアは、底打ちしている。スーパーやドラッグストアは、堅調に推移している。ホームセンターと家電大型専門店の販売額は、家電の買い替え需要の一巡などから、弱含んでいる。また、乗用車の新車登録台数は、供給制約の影響から低水準にある。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残っているものの、飲食・宿泊を中心に持ち直しの動きがみられている。

住宅投資は、持家を中心に持ち直している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、供給制約の影響から増勢が鈍化している。

主要業種別にみると、輸送機械は、供給制約により生産水準が大幅に切り下がっている。一方、生産用機械等は、振れはあるものの、半導体関連を中心に増加傾向にある。電子部品・デバイスも、スマホ・車載向けを中心に緩やかな増加基調にある。この間、食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。

労働需給をみると、求人が緩やかに増加しているが、その水準はなお低く、総じてみれば弱めの動きとなっている。この間、雇用者所得は、業種ごとのばらつきを伴いながらも前年を上回っているとみられる。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の上昇などから、前年を上回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、緩やかながらも低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
